

学校通信

福島小だより



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和3年7月20日 第5号

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○1学期、大変お世話になりました ～子どもたちの成長を嬉しく思います～

梅雨明けと同時に、本格的な夏がやってきました。暑い日が続いていますが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

1学期も新型コロナウイルスの感染予防対策を取りつつの学校生活でしたが、子どもたちは大きな混乱もなく、落ち着いて過ごすことができました。これも保護者の皆様のご理解、ご協力のお陰だと思っております。また1学期は、一人1台タブレットの効果的な活用の仕方を模索しながら、子どもたちの主体性を伸ばす学習に取り組んできました。子どもたちも教員も徐々にタブレットに慣れ、学習効果を上げることができてきました。

さて、夏休みはコロナ対策をとりつつ、家族で楽しい思い出をたくさん作ってください。そして、子どもたちがコロナウイルスに負けない強い免疫力をつけるよう、ご指導をお願いします。そのためには、食事と運動と生活リズムが大切です。3食しっかり食べて、家の手伝いをして体を動かして、早寝早起きを心がけさせてください。

8月27日の始業式に、子どもたち全員が元気な姿で会えるのを楽しみにしています。

○全校朝礼「夢をもとう」 ～夢を持つことで、人は強くなれます～

7月の全校朝礼はオンラインで、児童会本部役員の主催の「七夕集会」に絡めて「夢をもとう」というテーマで、東京五輪を目指す1人の体操選手の話をしました。

その選手は17才の時に世界大会で優勝し、リオ五輪では団体金メダルの立役者となりました。しかし、今年6月に高崎アリーナで行われた選考会で東京五輪の出場はかなわず、まだ24才の若さで引退を決めました。引退会見で涙はなく、恵まれた体操人生だったという言葉とともに、コーチになるという新たな夢を語っていました。体操競技をやりきったという思いが、新たな夢を決意させたのだと思います。

子どもたちは、今、自分の夢に向かって一生懸命に努力する時です。そして夢は、持ち続けることが大切です。夢を持ち続けることで、人は強くなれます。心が豊かになれます。今の夢を大切に、これからもずっと夢を持ち続けてほしいと思います。



○食育指導（6年生） ～昔から受け継がれているものの良さを学びました～

甘楽町給食センターの丸山先生をお迎えして、養護教諭と担任とで「日本食の良さをみつけよう」というテーマで食育の授業を行いました。

近年、日本食よりも洋食を好む人が多いことや、生活習慣病などにかかる人が増加していることをグラフから読み取り、食事と病気の関係について、データをもとに考えました。最後に、日本食を生かした献立をグループになって考えて発表しました。

